

PUBLIC RE DESIGN 02

パブリック・リデザイン

クリエイターが手がける
行政のデザインの
シンポジウム

2018/2/10/SAT 14:00-16:00

at enoco 1F room4

PUBLIC RE DESIGN 02

「パブリック・リデザイン」シンポジウム

会期：2018年2月10日(土) 14:00～16:00
13:30 受付開始

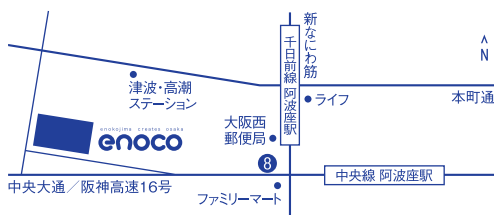
会場：大阪府立江之子島文化芸術創造センター
(enoco) 1階 ルーム4

参加料：無料

定員：60名程度(当日受付)

登壇者：佐藤大介 + 河内長野市・担当者
樋口寛人 + 大東市・担当者
森夕里子 + 岸和田市・担当者

進行：高岡伸一、増永明子



大阪市営地下鉄千日前線・中央線「阿波座駅」下車
8番出口から西へ約150m、徒歩約3分

[お問い合わせ]

大阪府立江之子島文化芸術創造センター(enoco) 担当:高岡
<http://www.enokojima-art.jp>

住所：〒550-0006 大阪市西区江之子島2-1-34

開館時間：10:00～21:00(月曜日休館)

連絡先：TEL.06-6441-8050 FAX.06-6441-8151
art@enokojima-art.jp

主催：大阪府立江之子島文化芸術創造センター(enoco)

共催：公益社団法人 日本グラフィックデザイナー協会(JAGDA/ジャグダ) 大阪地区
<http://osaka.jagda.or.jp>

市町村等の公的機関からは、市民サービス提供のために作成されたパンフレットやポスターを通じて、日々大量の情報が発信されています。そのとき、市民の生活にとって必要な情報を社会に向けて効果的に発信し、必要とする人々に確実に届けるための「デザイン」が極めて重要となります。

そこでenocoでは、大阪で活躍するグラフィックデザイナーといったプロのクリエイターと市町村をマッチングし、実際の業務で使うパンフレット等の制作に取り組むことで、デザインの重要性を多くの方々に知っていただく「パブリック・リデザイン」を、昨年度からスタートさせました。今年度は大阪府内の市町村から30件の応募があり、その中から採択された3つのプロジェクトについて、公益社団法人日本グラフィックデザイナー協会(JAGDA)のクリエイターとデザイン制作を進めてきました。

本シンポジウムではその成果を紹介すると共に、各市町村の担当者とクリエイターの間で交わされてきた作業プロセスを振り返ることで、行政とデザインの間を問い直し、これからの公共のデザインを変えていくきっかけとします。

	河内長野市の暮らしや魅力をPRする 移住定住促進パンフレット
	佐藤大介 グラフィックデザイナー × 河内長野市 総合政策部 広報広聴課
	佐藤大介(sato design.) 1982年鳥取県生まれ。成安造形大学卒業。デザイン事務所、広告代理店等勤務を経て独立。2012年株式会社サトウデザイン設立。企業・商品・施設・イベントなどの各種広告物の企画・デザイン、書籍の装幀、CI、VIなど、グラフィックデザイン全般を手がける。 http://www.sato-design.jp

	大東市で始める 乗合タクシーのシンボルマーク
	樋口寛人 グラフィックデザイナー × 大東市 街づくり部交通対策課
	樋口寛人(mineral) 1976年兵庫県生まれ。大阪在住。デザイン会社aozora 勤務を経て、2006年よりフリーランス。絵画出身の感覚的視点と造形力をベースにしながら、社会的視点も求められるデザイン分野に乗り込み活動中。ロゴ、パッケージ、サイン、エディトリアル、webなど様々なデザインを手がける。 http://www.mineraldo.com

	岸和田市の景観重要樹木を 周知するためのパンフレット
	森夕里子 グラフィックデザイナー × 岸和田市 まちづくり推進部都市計画課
	森夕里子(ni-moc) 大阪芸術大学デザイン学科卒業。同大学大学院助手。デザイン事務所を経て独立。2015年フォトグラファーと共に株式会社ニモック設立。グラフィックデザインと写真を軸に、広告物だけでなく、地域文化プロモーション事業なども手がける。JAGDA 大阪地区代表幹事(2018年現在)。 http://www.ni-moc.com

プロジェクト・ディレクター	高岡伸一	建築家 enoco企画部門チーフディレクター
プロジェクト・コーディネーター	増永明子	グラフィックデザイナー マナガデザイン部/JAGDA運営委員